

意識と行動ステップアップ（能力開発）シート

名前：

記入日：

点数	0実習生レベル	1試用レベル	2フレッシュレベル	3イケイケレベル	4ベテランレベル	5輝く華レベル	今のレベル	次のレベルに必要なことは何？
1	姿勢・身だしなみ 学校の規定通り？	上から下までばっちり。後ろ姿？見 えません～	髪型も、爪も、化粧も、医療従事 者！	清潔域・不潔域の境界線をしっか り把握し患者さんに安全な歯科医 療を提供できます。	作業や業務のすべての所作が美 しく、姿勢だけでできる人！！	五感を使ったすべての感じのいい 医療スタッフとして、後輩にもメン ターとして態度を示します。		
2	専門知識 学校で習ったけれど、自信がな い	歯科医院で専門誌を定期購読し ているけど、内容はよく分からない	定期購読している専門誌の内容 が、実際に臨床で照らし合わせな がら、理解できて来た	専門誌も楽しく読める。興味のあ る本は自分で購入してじっくり読ん でみようかな。	患者満足度を上げるために、専門 知識だけでなく患者さんのメンタル 面を支えられる知識も勉強。	医療、メンタルだけで出なく、マネ ジメントの知識も持って意識しなが ら行動		
3	トータル技術 まだまだ練習が必要	確実に忠実に。焦らないように。ま だまだ時間がかかってしまう。	アシスタント業務は素早く行えるよ うになった。歯科衛生士業務を少 しずつ任せてもらえる。	担当の患者さんを受け持つことに。 まだまだ先輩に聞きながらだけど、ひ どり立ち出来てきたかな。	一人で担当患者さんを診ることが できる。後輩の指導も任せられた。 ベテランになってきたぞ～	どんな患者さんでも対応可能。		
4	自己啓発 診療室のことを覚えることで精 一杯。	勉強する気持ちはいっぱい。先生 や先輩に聞きながら取り組むぞ！	ぼんやりとけど、自分の目指す歯 科衛生士像が見えてきたかな。セ ミナーや研修会に参加してみる？	自分の目標がしっかり定まってい る。目標に向かって、しっかり勉強。 自己投資も始めたぞ。	研修会には積極的に参加。吸収 した知識を診療で活かすために先 生に相談。得た知識は患者さんに 還元。	学会、勉強会にも積極的に参 加。人生を豊かにする自分の興味 の部分も大切に。		
5	業務内容 早く就業時間が終わらないか な～	最初は分からないことばかり。聞い たことはとてあえずメモして覚えよう。	出来ること、出来ないことを整理 し、セルフチェックができる。	基本的な業務はこなせるが、満足 できずに次の課題を設定できる。	自分ができるだけではなく、後輩が 成長できるような環境を整える。	他の環境に興味を持って、活用で きるような情報を常に仕事に取り入 れる姿勢がある。		
6	コスト意識 コスト？考えたことありません。	歯科の材料っていくらするの？注 文発注はどこに？	1つ1つの作業に適材適所。無駄 遣いしません。	材料の仕入れ値をだいたい把握。 保険点数も理解し始めてしまし た。	自分が患者さんを担当する1時間 当たりの保険点数を理解してい る。	スタッフがコスト意識を持って診療 し、モチベーションが上がるようにメン ターとしての意識を持つ。		
7	患者さんとのコミュニ ケーション 患者さんとは最小限の会話。 用件だけ。	アイコンタクトを取りながらきちんと 挨拶。	顔と名前が一致。この患者さんの 今日の処置内容も確認済み。	治療前に一言。患者さんがリラック スできる言葉かけができる。	良く患者さんの話を聞いて、患者 さんの生活様式や環境をインプ ット。	こちらの治療方針をしっかり理解し てもらえるように説明も完璧。患者 さんのリコール管理も。一生のお 付き合い。		
8	スタッフとのコミュニ ケーション 「おはようございます！」挨拶出 来ます。	一人一人の目を見てきちんと挨拶。 休日をとるときも先輩に一言相 談している。	ちょっと気になることや、業務の連 絡、報告、相談はこまめに行う。	作業や意思決定に困ったときは早 急に相談。	元気がなさそうなスタッフがいな いかにかけ、さりげなくフォロー	公私のけじめをもって役割を果た す。メンターの存在。		
9	歯科医師とのコミュ ニケーション おはようございます。挨拶出来ま す。	言われた通りなら、行動できる。 返事も完璧。	先生の歯科医療におけるビジョン を知っている。	先生の治療に対する考えを理解 し、同調できる。	先生の方針に合わせて同調し、さ まら提案ができる。	患者さんを理解し、スタッフをまと め、先生のパートナー的存在		
10	問題解決 やっと1日が終わった～早く帰ろ う！	お疲れ様でした！無事終了？	今日1日、自分で気づいた問題 点や課題はなかったかな？	本日の問題点をチームに報告。自 分で考えた解決案を提案しアドバ イスをもらえる。	目標や問題を共有できる環境づく りを実践。定期的に情報交換を意 識した会話の徹底。	委員を発展させるための提案がで きる環境づくり。スタッフの充実のた めに問題解決の手法を学ぶ。		

※現在の自分のレベルに当てはまるものを数字で記入、今の自分に足りていないことを目標として記入しよう！